

## 横浜大特集

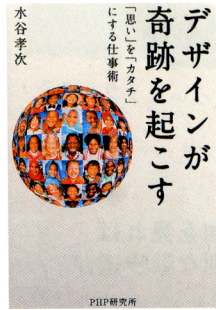
★エリア散歩  
関内・山手・野毛・黄金町・本牧  
横浜の洋食&中華街グルメ  
横浜駅 TOPICS & NEWS

Yokohama  
Cafe & Gourmet  
便利な  
横浜カフェ案内  
横浜の  
おいしい  
お店40軒

# 横浜

香るように漂うのは、  
あの頃から続く物語

今日、  
あの頃へ



『デザインが奇跡を起こす』「思い」を「カタチ」にする仕事術

道に迷ったとき、壁にぶつかったとき、勇気をくれる1冊

デザイナーを志す原点になった体験。ピリ社員からは上がるかと必死だった下積み時代。成功を手にしても虚しかった日々。アートディレクター・水谷孝次が、自らの足跡をたどりながら、今を生きる人たちに熱いメッセージを贈る!

水谷孝次・著【ノンフィクション】PHP研究所 1470円

若者に勇気と希望を与える  
デザインがしたいんです

北京オリンピックの開会式の最後に、世界各国の子供の笑顔がプリントした傘の花が会場を埋め尽くしたことを覚えていたのだろうか。傘からはみだしそうなとびきりの笑顔を見せる子供たち。それを撮影したのが水谷孝次さんだ。80〜90年代には広告のアートディレクターとして最前線で活躍し、国内外の賞を次々と受賞。夢をかなえ超売れっ子デザイナーとなった水谷さんだったが、あるとき、すべてをゼロにして自分の仕事を見つめ直す決意をする。

「若い頃は、富と名声を得たら幸福が待っていると信じて働いてきたが、しんどかった。モノを作る楽しさを感じてはいたけれど、お金さえあれば何でもできる。そんな時代の空気に疑問を抱き続けていました。でも、あるところまで行き着いたら、生きることや幸せの本質を考えるようになったんです。社会的な仕事をしたい、という思いが日に日に強くなりました」

もっと夢のある仕事  
がしたい、人に貢献したい。そんなことを考えていた1999年、旅先で出会った女の子たちの笑顔を集めた写真集を出版

することになった。それが、世界中の人に、あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは、なんですか?という質問を投げかけ、返ってきた笑顔の写真とメッセージでMERRYを広げる活動 MERRY PROJECTの始まりだった。

「アートは人に喜びを与えるものだと思うし、究極のデザインは笑顔。笑顔には人を幸せにする力があるんです」

10年たった今、活動は世界中に広がり、愛知万博の会場や地震や津波の被災地にも笑顔の花が咲いた。なにが水谷さんを動かし、どこへ向かおうとしているのか。それは1月9日に発売された著書『デザインが奇跡を起こす』に、厳しい時代を生きる後輩たちに伝えたい熱い思いとともにつづられている。

「今はこんな時代だから、みんなが閉塞感を感じているけれど、若い人たちに勇気と希望を与えることをデザインしたい、というのが僕の目標なんです。この本が世の中の空気を変えるきっかけになると嬉しいですね。僕は途中でやめるのがイヤな性格だから、執念深いくらいにひとつの仕事を続けてきました。でも、納得するまでやらないと次には進めないですよ。僕がやってきたことはどんな仕事にも通じると思うので、デザインに関係ない仕事をしている人も、ぜひ読んでみてください。」



水谷孝次

日本デザインセンター入社後、1983年に水谷事務所設立。東京ADC賞、JAGDA新人賞、N.Y.ADC国際展・金賞・銅賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞・特別賞などを受賞。1999年よりMERRY PROJECTを開始、愛知万博や北京五輪などに参加

book

本を片手に、心にゆとり